

サーキット・ライダー2007年 5月号

母の日に思う

あなたの父母を敬え。あなたの神、主が命じられたとおりに。そうすればあなたは、あなたの神、主が与えられる土地に長く生き、幸いを得る。

申命記 5：16.

聞け、イスラエルよ。我らの神、主は唯一の主である。あなたは心を尽くし、魂を尽くし、力を尽くして、あなたの神、主を愛しなさい。今日わたしが命じるこれらのことばを心に留め、子供たちに繰り返し教え、家に座しているときも道を歩くときも、寝ているときも起きているときも、これを語り聞かせなさい。更にこれをするしとして自分の手に結び、覚えとして額に付け、あなたの家の戸口の柱にも門にも書き記しなさい。

申命記 6：4-9.

当人たちは「あまり大仰にしたり、言わないで欲しい。」と言っていましたが、私の両親はこの5月に結婚50周年の金婚式を迎えます。パークリッジのアメリカ人教会には金婚式を迎えた夫婦が何組もいますが、離婚率がかなり以前から50%を越しているアメリカ、また近年離婚率が上昇している日本では、金婚式は偉業と言っても言い過ぎではないと思います。改めて金婚式を迎えた父母を祝福したいと思います。

しかしその歩みは息子として傍から見ても決して楽なものではありませんでした。妹が生まれたばかりの頃、私がまだ2、3歳の頃ですが、家族は3畳ちょっとの部屋を間借りして住んでいました。その後足立区の都営アパートに引っ越しましたが、牧師の給料だけでは家族を支えられない父は工場で働いたり、タクシーの運転手をしたり、母は内職をし、更に家族を支えるために保母の資格を取得し足立区の保育園に勤めに出ました。私も妹も当時流行った鍵っ子の走りです。今日のように週休二日制が確立される前で当時は日曜日だけが休日でした。勿論日曜日は主の聖日ですから、教会に行き礼拝を守ります。活動ができたのは午後からで子供心に私はボーイスカウトに入って日曜日朝から活動していた友人、少年野球のチームに入って日曜日ごとに試合を楽しんでいた友人たちが羨ましく「何故、自分はできないんだろう」と悔しい思いをしたこともありました。当然、日曜日に運動会があれば父母は礼拝が終わってから見に来ましたし、日曜日に授業参観があってもほとんど来れませんでした。

しかし長い年月が経った今、そのことに感謝しています。勿論職業柄どうしても日曜日や土曜日に働かなければならない方も多くいますので、その方々に生活を損ねてまで聖日を守り、礼拝に出なさいとは強要しませんが、普通に月から金まで働いて土日休んでいる人々、しかもクリスチャンとして教会に名を連ねている人々の中に聖日を守らない方が増えていることには憂いを覚えます。今のアメリカの傾向はこれまで慎ましく働き家族を守ってきた人々、特に中産階級の意識が変わり、目に見える物、数値に表せる物に価値観を置き、一昔前だったらマンション（日本のマンションはアメリカではアパートと規定されます。本来のマンションとは部屋が幾つもある豪邸を指します。）と呼ばれるような大きな家を建て住むのがここ数年の流行です。しかしその一見マンション風の家はそれまで綺麗に手入れしていた庭をつぶし敷地一杯一杯に家屋を建て景観を損ねるばかりか、表向きはレンガや石ですが、実はプラスチック樹脂の偽物で合板の上に貼り付けた代物です。張りぼてのマンションに住み見掛けを誇る人々には「聖日を守る」信仰の姿をあまり見ることができません。父がよく「格好満点、中身零点。」と言ったのを思い出します。

さて「父母を敬う」ことは当然ですが、親も子供に責任を果たさなければならない。その責任とはただ稼いで養うことではなく、正しい躾、正しい教育を与えること。正しい教育とは有名校に入れるとか、一流（と呼ばれる）会社や職に就かせることではありません。子供が人としてどのように立つかが問われ、愛を持って他者に接し人の痛みが分かる人間に育てることです。こうやって書くと仰々しく聞こえますが、自己主張ばかりしないで協調性を持って歩める人間になる手助けをする。あくまで手助けです。子供はいつか自分で立たなければなりません。子供が独り立ちできる手助けをする。それが教育です。

申命記では「神を愛すること」を第一に「父母を敬うこと」や諸々の戒めをしつこいくらい繰り返し教えることを命じています。幼い頃から聖書の言葉を繰り返し教えれば、いつの日か必ず御言葉がその人を支えてくれる日が来るでしょう。そのことを信じて日常生活をお過ごし下さい。 吉松 純

礼拝、Jr. 教会（日曜学校）は毎日曜日午後4時です。

5月 6日：礼拝：聖餐式、Jr.教会：お話し会、5時30分：キャンプ委員会

13日：礼拝、Jr.教会：母の日の工作

20日：礼拝、Jr.教会：庭仕事

27日：礼拝、ゲスト：鈴木譲牧師予定（ニューヨーク日本語教会） Jr. 教会：5月の料理

6月 3日：礼拝：聖餐式、Jr.教会：庭仕事

行事予定と報告

*フォートリーベタニヤ合同メソジスト教会での聖研はコントラクトの都合でしばらく休会します。ご迷惑をお掛けしますこととお詫びします。

*18日（金）午前10時30分より牧師館にて聖書の学び。マルコによる福音書。佐藤彰牧師の本を使っている学び。

*25日（金）午後7時より教会で、一昨年パークリッジでリサイタルをされた岩永善信氏を再びお迎えしてクラシック・ギター・リサイタルがあります。今回は6月1日にカーネギーホールでデビュー、その感謝を込めてパークリッジで演奏して下さい。どうぞお出かけください。

*毎週火曜日午前10時より教会カウンセリング・ルームにてアメリカ人の婦人会メンバーと聖書研究会（英語）があります。英語を学びたい方、聖書に興味ある方は是非ご参加下さい。

*洗礼準備聖書勉強会：毎週日曜日礼拝前の午後3時より。洗礼を受ける決心をしたかた、またまだ迷っている方、何も分からない方、皆歓迎します。

お知らせ：

*8月5日（日）から11日（土）までSMJ、ユニオン教会と協賛でサマーキャンプをします。案内書がありますので、ご近所で小学生のお子さんがいらっしゃる方に是非お勧め下さい。

御協力お願い致します。献金のあて先はUMC-JAとし、寄付のあて先をNoteに記して下さい。

*ハーベスト・タイム放映の為、献金、お祈りのご協力をお願いいたします。

*消印のついた切手の周り1センチの余白を残して切り取って下さい。切手は日本キリスト教海外医療協力会（JOCS）に送ります。JOCS海外に医療関係者を送ると共に医療関係者の育成をしています。

*ケニアの恵まれない子供達やエイズの患者さん為に特別献金をしています。ご協力下さい。

*パターソンのSt. Philip伝道と社会福祉団体CUMAC/ECHOの為に。どちらもメソジスト教団に属し、貧しい人達の為の炊き出しと路傍伝道をしています。

連絡先：英語オフィス(201) 391-5499 日本語オフィス兼ファックス (201) 505-0347

吉松牧師 (201) 391-2208 pastor@umc-japan.org 代表役員：松尾孝恵姉 Takae17A@aol.com

教会学校担当：吉松 泉姉 izumi.yoshimatsu@gmail.com ホームページ：<http://umc-japan.org>